

<p>【技術の名称】 C-FD工法 ー先端翼付鋼管を用いた杭状地盤補強工法ー (改定1)</p>	<p>性能証明番号: GBRC 性能証明 第15-22号 改1 (更2) 性能証明発効日: 2024年1月15日 性能証明の有効期限: 2027年1月末日</p> <p>【取得者】 旭コンステック株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、鋼管に鋼管径の2.8倍または3.0倍の直径を有する先端翼を溶接接合したものを地盤中に回転貫入させ、これを杭状地盤補強材として利用する技術である。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して杭状地盤補強材の支持力のみを考慮することとしている。

【改定・更新の内容】

新規: GBRC 性能証明 第15-22号 (2015年12月22日)
 改定1: GBRC 性能証明 第15-22号 改1 (2018年1月23日)

- ・補強材仕様の追加 (外径 139.8mm, 165.2mm, 190.7mm)
- ・適用地盤の追加 (砂質土地盤に礫質土地盤を含める)
- ・最大施工深さを変更 (18.0mまで延長)
- ・補強材継手方法を追加 (機械式継手も可)

更新: GBRC 性能証明 第15-22号 改1 (更1) (2021年1月6日)
 GBRC 性能証明 第15-22号 改1 (更2) (2024年1月15日)

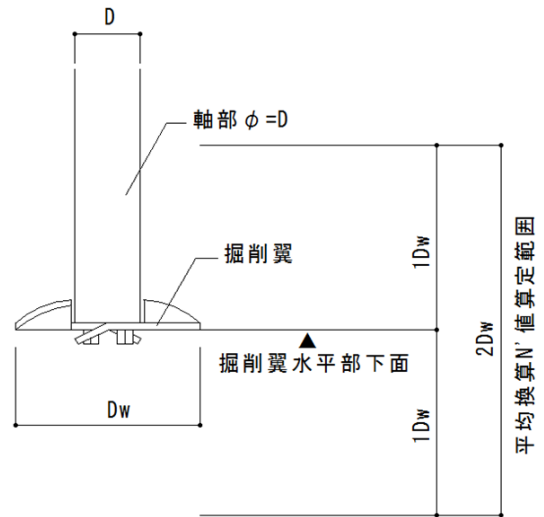


図-1 平均 N' 値の算定範囲

表-1 補強材の最大施工深度

軸部径(mm)	最大施工深度(m)
89.1	11.5
101.6	13.0
114.3	14.5
139.8	18.0
165.2	18.0
190.7	18.0

表-2 先端支持力係数

補強材先端支持力係数		先端部の N'の算定範囲
適用地盤	α_{sw}	
砂質土地盤 (礫質土地盤を含む) 粘土質地盤	300	補強材先端部より 上～1Dw 下～1Dw

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強材の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「C-FD工法 設計・製造・施工基準」に従って施工された補強材の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同基準に定めるスクリーウエイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

【本技術の問合せ先】

旭コンステック株式会社 担当者: 関根 健二
 〒490-1296 愛知県あま市乙之子八反田 12

E-mail: k-sekine@asachunet.co.jp
 TEL: 052-445-4134 FAX: 052-445-2542